

ITECセミナー 開催のお知らせ

IoTの進展がもたらす

超ビッグデータ時代の恩恵拡大を導く技術開発の展望

日時 2016年12月26日（月）15:00～16:30

場所 同志社大学
東京サテライトキャンパスセミナー室
〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階
<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>講師 津田 博史氏
株式会社 NTT データ
技術開発本部 エボリューション | T センタ 部長

津田 博史 氏のプロフィール：

1990年京都大学工学部数理工学科卒業、1992年京都大学工学研究科応用システム科学専攻終了、同年4月株式会社NTTデータ通信（現NTTデータ）入社。

入社当初は金融関係のシステム開発に従事。1996年から同社システム科学研究所にて、インターネット実証実験「まちこ」内のマーケティング実験「教えて！まちこ」の企画、開発、運営や、有機農業認証や社会調査などに従事、『あなたの子供の世代は幸せになると思いますか』共同執筆。2000年より、同社技術開発本部、同社ビジネスイノベーションセンターなどにて、インターネット上のコミュニティ活動の可能性を拓く研究、企画、サービス開発やアパレルメーカーとのEC共同事業などに従事。グループ会社出向等を経て、現職。

講演の概要：

「Roadmap for the Trillion Sensor Universe」によれば、2012年に1億個といわれたセンサの数は2022年には1兆個と、指数関数的な増加が見込まれている。いわゆるIoT（Internet of Things）の時代には、これまで以上に膨大なデータが収集、蓄積されることとなる。この超大なデータは、これまで以上に多角的に利用、活用されることで、これまでになかった全く新しい社会的価値を創出することが期待されている。

一方、このセミナーシリーズの趣旨（下記参照）に示されているように、この多角的な利用、活用には、社会的課題、技術的課題の解決も不可欠である。

今回は、一部ではあるが、私たちの取組むPoC（Proof of Concept）実証を通じた利用拡大事例をご紹介しながら、今後の多角的な活用促進のための技術開発を展望してみたい。

プログラム 15:00～16:00 講演

* 来聴歓迎 *

16:00～16:30 質疑応答

* 参加費無料 *

ITEC セミナーシリーズ2 「ビッグデータの相互利用促進に向けての課題とその克服」

ITECセミナーは、新しい技術に対応した社会の新しい仕組みを展望することを目的に、いくつかの論題を設定して、様々な視点からシリーズで議論していくことを運営方針としています。

今回のセミナーは、「ビッグデータの相互利用促進に向けての課題とその克服」シリーズの一環として開催するものです。

モノに設置されたセンサーから収集される膨大なデータがインターネット上で流通・蓄積されるIoT（Internet of Things）が急速に進展しつつあります。IoTで得られる膨大なデータ解析を活用することで、われわれの社会の運営効率は飛躍的に向上すると予想されます。しかしながら、われわれがこの価値を手に入れるためには、組織や企業の壁を越えたデータの流通が不可欠です。このセミナーシリーズでは、ビッグデータの相互利用を促進に向けて、障害となる技術的、制度的諸問題とその解決策、組織の私的利益と社会全体の利益を整合させるための新たな社会的メカニズム等を、大学一産業界、工学・情報科学-社会科学の連携の下に、議論していきます。

＝ お申込み・お問合せ ＝

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

TEL：075-251-3779 FAX：075-251-3139

e-mail：itec@doshisha-u.jp

URL：http://www.itec.doshisha-u.jp/